



本社及び当社代表商品

- 本社所在地：北海道千歳市流通3丁目2番2
- 事業概要：食肉(国産牛肉・国産豚肉・国産鶏肉・道産ラム肉など)の加工、販売、卸
- 常時使用する従業員：79名
(グループ全体・2026年3月時点)
- 現在の売上高：24億円
(グループ全体・2025年6月期)
- 法人番号：4430002048032
- Web： https://www.29yamamoto.jp/user_data/company

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山本 歳勝

「食で感動を」を目標に、見て美味しい、食べて美味しい商品提供をする

当社は「食で感動を」を理念に、食肉製造・卸を通じて価値ある商品づくりに取り組んでいます。2020年にはJFS-B規格認証を取得し安心安全な商品造りに取り組み確立してきました。今後はこれまで培った基盤を活かし、時代のニーズに応える商品開発と生産体制の強化を進めてまいります。売上高100億円の達成を目指し、お客様満足と企業成長を両立させ、地域社会に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

売上高年平均成長率約15%を維持し、2037年に売上高100億円達成を目指します。現在のGr全体売上高約24億円から100億円規模への成長には約4倍以上の拡大が必要であり、生産能力の増強を軸とした持続的な成長戦略によりこれを実現させます。

課題

- ・ 生産能力の限界
既存工場の生産能力が上限に達しており、売上拡大のボトルネックとなっている。
- ・ 非効率な製造体制
複数拠点に分散した加工機能により、生産効率および人員配置の最適化ができていない。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円の実現に向け、生産能力の強化を中核とした成長戦略を推進させます。具体的には、新たに土地を取得し、新工場を建設することで、生産能力の拡大と供給体制の強化を図ります。また、肉の山本本社加工部門およびムロランミートの工場機能を新工場へ集約し、生産効率の向上とコスト削減を実現させます。さらに、新工場稼働に伴う人材採用および育成を強化し、生産・営業両面における組織体制の強化を図り、持続的な成長基盤を構築することで売上高100億円の達成を目指します。

実施体制

経営層が新工場建設およびグループ再編の意思決定を担い、生産部門は加工機能の集約と製造ラインの効率化により生産能力の最大化を図る。営業部門は既存顧客の深耕と新規販路開拓を推進し、商品開発部門は高付加価値商品の開発により収益性の向上を担う。加えて、人事部門は人材採用および育成を通じて組織基盤を強化し、グループ会社間では役割分担を明確化することで、効率的かつ機動的な経営体制を構築する。これにより、計画の確実な実行と持続的な成長を実現させます。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

生産能力の向上による100億円体制の構築

当社を取り巻く食肉加工業界においては、外食・中食市場の拡大やインバウンド需要の回復により、安定した供給力へのニーズが高まっている。一方で、人手不足や原材料価格の高騰、物流コストの上昇などにより、効率的な生産体制の構築が企業成長の鍵となっている。

このような環境下において、当社は売上拡大に対して既存工場の生産能力が上限に達しており、事業成長の大きな制約となっている。また、複数拠点に分散した加工体制や老朽化した設備により、生産効率および人員配置の最適化が十分に図れていないという課題を抱えている。

これらの課題を解決し、売上高100億円の実現に向けた成長基盤を構築するため、当社は新工場の建設を中核とした生産体制の抜本的な再構築を行う。新工場の稼働により、生産能力の制約を解消し、大量生産と安定供給を可能とする体制を整備する。

あわせて、肉の山本本社およびムロランミートの加工部門を新工場へ集約することで、生産工程の効率化およびコスト削減を実現し、収益性の向上を図る。また、高付加価値商品の開発を強化することで単価向上を実現し、販路拡大と組み合わせることで売上の最大化を図る。

さらに、人材採用および育成を進めるとともに、グループ全体の機能分担を明確化することで、事業拡大に対応可能な組織体制を構築する。

これらの取り組みにより、準備期間（工場建設期間である2027年～2028年）後は、新工場稼働後による生産能力の拡張を背景に年率15%前後の成長を実現し、最終的に売上高100億円規模の事業体制を構築する。

売上高

